

## 平成23年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月8日

上場会社名 株式会社 レーサム

上場取引所 大

コード番号 8890 URL <http://www.raysum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松倉 信行

TEL 03-5157-8881

四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年8月期第2四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成23年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第2四半期	3,932	△45.0	60	△85.6	△309	—	△363	—
22年8月期第2四半期	7,152	△31.9	420	—	75	—	154	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第2四半期	△788.47	—
22年8月期第2四半期	335.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年8月期第2四半期	48,397	19,295	39.9	41,872.68
22年8月期	51,615	19,596	38.0	42,526.09

(参考) 自己資本 23年8月期第2四半期 19,295百万円 22年8月期 19,596百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年8月期	—	0.00	—	—	—
23年8月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	49.3	1,700	18.5	1,000	26.7	850	27.3	1,844.56

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年8月期2Q 460,814株 22年8月期 460,814株

② 期末自己株式数 23年8月期2Q 一株 22年8月期 一株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年8月期2Q 460,814株 22年8月期2Q 460,814株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアの新興国を中心とする海外の景気回復を受けて一部では企業収益に回復基調が見受けられるものの、依然厳しい雇用・所得環境とデフレ状況に変化はみられず、一部の産油国の政治的な混迷等が世界経済に新たな不安要素として加わるなど、国内の景気の先行きは依然不透明な状況が継続しております。

国内の不動産市場においては、首都圏の収益不動産の安定性はお客様にとって魅力的な投資対象であり、当社の販売活動においても、お客様の購入意欲は堅調なものがあります。しかしながら購入検討から購入実行に至るまでの過程で、従前以上に慎重なプロセスを踏むお客様も増えております。当社としてはお客様が十分な検討を終えた上での不動産購入を推奨していることもあり、当第2四半期は、資産運用事業の売上高と利益が前年同期比大きく減少しました。一方でサービス事業においては、既存保有の買取債権からの丁寧な回収活動に注力してきた結果、期初の予定を上回る収益を計上することができました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,932百万円（前年同四半期比45.0%減）、営業利益は60百万円（前年同四半期比85.6%減）、経常損失は309百万円（前年同四半期は経常利益75百万円）、四半期純損失は363百万円（前年同四半期は四半期純利益154百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①資産運用事業

当事業においては、主に個人富裕層を対象として、当社にて予め把握させていただいたお客様の不動産投資意欲に合致した不動産を確保し、これを長期の運用商品として耐えうるものに加工した上で、お客様への販売を行ってきております。

第1四半期において、販売時期を第2四半期以降とした中型物件（複数）については、第2四半期までに販売すべく尽力してまいりましたが、特定のお客様との個別協議を丁寧に継続しており、残念ながら第2四半期までに引き渡しは出来ませんでした。よって第3四半期以降の販売に努めてまいります。当第2四半期までに仕入れた中・小型物件（複数）についても、当社仕入後のバリューアップ活動は順調に進行しており、同様に第3四半期以降での販売に注力いたします。

また、当社の経営方針においては、計画利益達成のみならず、健全なバランスシートの維持も極めて重要と位置づけていることから、在庫物件の販売を優先し、その上で次の物件を仕入れるという基本スタンスを継続したこと、また、不動産の調達環境が厳しい中でも調達対象を厳選する姿勢を継続したことも、当セグメント売上高とセグメント利益が予想を下回った一要因であります。

その結果、売上高は1,908百万円、セグメント損失は127百万円となりました。

#### ②証券化事業

当事業においては、主に国内外の機関投資家及び個人富裕層向けに、運用ニーズに応じた不動産私募ファンドを組成し、これらの私募ファンドからアセットマネジメント業務を受託することにより、アセットマネジメントフィー等の収益を得ております。当セグメントにおいては、予定どおりのアセットマネジメントフィー売上を計上した結果、当事業における、売上高は10百万円となりましたが、販売費及び一般管理費の負担がありセグメント損失は8百万円となりました。

#### ③プロパティマネジメント事業

当事業においては、主に当社販売後の物件に関する賃貸管理ならびに建物管理等の不動産投資運用サービスを提供しており、不動産の市況にかかわらず、お客様の満足度を高めていく活動を継続してきております。

当第2四半期は、当初の計画に比べ保有物件からの賃料収入が増加していることから、セグメント売上高およびセグメント利益ともに計画を上回った結果、当事業における、売上高は733百万円、セグメント利益は160百万円となりました。

#### ④サービシング事業

当事業においては、主に連結子会社であるグローバル債権回収株式会社が、銀行等の金融機関から自己勘定あるいは機関投資家との共同出資にて債権を購入し、これら債権の管理回収等の業務を行っております。

当第2四半期においても保有する既存の買取債権からの丁寧な回収活動に注力してきた結果、セグメント売上高は計画比で少額ながら減となった一方で、利益率の向上を図った結果、セグメント利益は計画を上回り、当事業における売上高は1,013百万円、セグメント利益は237百万円となりました。

#### ⑤投融資事業

当事業においては、当第2四半期においても新たな投融資の実績はなく、前連結会計年度中に貸付金の回収をすべて行ったことにより期初における投融資残高もなかったことから、売上高の計上はありませんが、オフィス賃料を販売費及び一般管理費に計上していることにより、セグメント損失は2百万円となりました。

#### ⑥その他の事業

当事業においては、主に連結子会社である株式会社アセット・ホールディングスが保有するゴルフ場、「レーサム・ゴルフ・アンド・スパリゾート」を運営しております。当第2四半期は、コースコンディションの改良工事を行うために、ご来場の皆様にご不便をおかけしていた期間もあり、セグメント売上高は若干計画を下回り、当事業における売上高は270百万円、セグメント損失は34百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%減少し、45,800百万円となりました。これは、主として、販売用不動産が2,050百万円増加したものの、現金及び預金が4,201百万円、買取債権が906百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.3%減少し、2,596百万円となりました。これは、減価償却資産の減価償却による減少102百万円および投資その他の資産のその他に含まれる保証金が76百万円減少したことが主な要因であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は48,397百万円（前連結会計年度比6.2%減）となりました。

#### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて9.1%減少し、29,101百万円となりました。これは、有子負債の償還日及び返済期日の到来等に伴う新たな資金調達、及び新たな販売用不動産の仕入れに伴い新規の資金調達を行った結果、短期借入金が20,070百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金及び1年内償還予定の社債がそれぞれ2,116百万円、19,000百万円減少したこと、並びに未払法人税等が1,929百万円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、19,295百万円となりました。これは四半期純損失の計上により、利益剰余金が363百万円減少したことが主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて4,201百万円減少し、1,620百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、3,511百万円の減少となりました。これは主として、買取債権の回収により906百万円の資金増加要因があったものの、販売用不動産の純増による2,050百万円の資金の減少、利息の支払い392百万円、及び法人税等の支払い1,923百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、32百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出32百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、657百万円の減少となりました。これは、短期借入金は20,070百万円、長期借入金は831百万円増加しましたが、長期借入金の返済による支出2,558百万円及び社債の償還による支出19,000百万円があり、657百万円の有利子負債が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震が業績に与える影響を現時点で見極めることが非常に困難であることから、引き続き事業環境を注視したうえで必要があればあらためて公表いたします。従いまして現時点においては、平成22年10月15日に発表いたしました当初の予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計基準等の改正に伴う変更

第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1百万円減少し、経常損失の金額は1百万円、税金等調整前四半期純損失の金額は6百万円それぞれ増加しております。

②表示方法等の変更

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「還付加算金」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間において営業外収益の「その他」に含めておりました「還付加算金」は2百万円であります。

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「違約金収入」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間において営業外収益の「その他」に含めておりました「違約金収入」は2百万円であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,620	5,822
営業未収入金	83	86
営業投資有価証券	882	820
販売用不動産	6,221	4,170
仕掛販売用不動産	29,672	29,521
買取債権	7,650	8,557
繰延税金資産	317	328
未収還付法人税等	3	60
その他	287	360
貸倒引当金	△938	△903
流動資産合計	45,800	48,824
固定資産		
有形固定資産	1,633	1,683
無形固定資産	374	405
投資その他の資産		
投資有価証券	304	304
繰延税金資産	2	11
出資金	22	22
その他	561	817
貸倒引当金	△301	△471
投資その他の資産合計	588	684
固定資産合計	2,596	2,772
繰延資産		
社債発行費	—	18
繰延資産合計	—	18
資産合計	48,397	51,615



(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	22,220	2,150
1年内返済予定の長期借入金	855	2,972
1年内償還予定の社債	1,500	20,500
未払法人税等	164	2,094
前受金	127	115
賞与引当金	1	0
その他	469	587
流動負債合計	25,338	28,419
固定負債		
長期借入金	920	531
流動化調整引当金	12	27
預り敷金	1,233	1,309
匿名組合預り出資金	1,597	1,730
固定負債合計	3,763	3,598
負債合計	29,101	32,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,453	5,453
資本剰余金	6,899	6,899
利益剰余金	7,175	7,538
株主資本合計	19,528	19,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△233	△295
評価・換算差額等合計	△233	△295
純資産合計	19,295	19,596
負債純資産合計	48,397	51,615

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)
売上高	7,152	3,932
売上原価	5,655	2,803
売上総利益	1,497	1,128
販売費及び一般管理費	1,076	1,067
営業利益	420	60
営業外収益		
受取利息	2	0
還付加算金	—	1
違約金収入	—	2
その他	10	3
営業外収益合計	12	7
営業外費用		
支払利息	300	328
社債発行費償却	55	18
その他	1	31
営業外費用合計	357	378
経常利益又は経常損失(△)	75	△309
特別利益		
負ののれん発生益	153	—
貸倒引当金戻入額	—	22
関係会社配当金	7	—
特別利益合計	161	22
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5
特別損失合計	—	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	237	△292
法人税、住民税及び事業税	3	82
過年度法人税等戻入額	△15	△31
法人税等調整額	90	20
法人税等合計	78	70
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	159	△363
少数株主利益	4	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	154	△363

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	237	△292
減価償却費	118	102
負ののれん発生益	△153	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△322	34
流動化調整引当金の増減額(△は減少)	16	△15
機構改革損失引当金の増減額(△は減少)	△25	—
受取利息及び受取配当金	△10	△0
社債発行費償却	55	18
支払利息	300	328
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5
売上債権の増減額(△は増加)	△0	3
営業貸付金の回収による収入	74	—
販売用不動産の増減額(△は増加)	1,730	△2,050
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	△120	△150
買取債権の増減額(△は増加)	1,803	906
前受金の増減額(△は減少)	4	11
未払消費税等の増減額(△は減少)	△150	37
預り敷金の増減額(△は減少)	△52	△0
匿名組合預り出資金の増減額(△は減少)	△142	△132
匿名組合出資金の払戻による収入	14	—
その他	△111	△1
小計	3,271	△1,195
利息及び配当金の受取額	10	0
利息の支払額	△313	△392
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,960	△1,923
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,929	△3,511
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6	△32
投資その他の資産の取得による支出	△83	—
投資その他の資産の解約等による収入	38	0
投資有価証券の売却による収入	0	—
投資有価証券の払戻による収入	341	—
子会社株式の取得による支出	△240	—
関係会社株式の取得による支出	△1	—
関係会社の清算による収入	10	—
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	61	△32

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△960	20,070
長期借入れによる収入	400	831
長期借入金の返済による支出	△2,173	△2,558
社債の償還による支出	△1,000	△19,000
配当金の支払額	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,734	△657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,256	△4,201
現金及び現金同等物の期首残高	7,924	5,822
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	137	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,317	1,620

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日）

	資産運用事業 (百万円)	証券化事業 (百万円)	プロパティマネジメント事業 (百万円)	サービシング事業 (百万円)	投融資事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	4,331	17	814	1,675	0	313	7,152	—	7,152
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	10	10	(10)	—
計	4,331	17	814	1,675	0	324	7,163	(10)	7,152
営業利益又は営業損失(△)	264	10	179	155	△1	5	613	(192)	420

(注) 1 事業の区分は、事業内容によって区分しております。

2 各事業区分に属する主要な内容

- |                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| (1) 資産運用事業        | : 収益不動産の調達、運用商品の組成・販売       |
| (2) 証券化事業         | : 運用商品の証券化、機関投資家との共同出資      |
| (3) プロパティマネジメント事業 | : 不動産管理                     |
| (4) サービシング事業      | : 債権管理回収、デューデリジェンス          |
| (5) 投融資事業         | : M&A等による投資・育成、プロジェクトファイナンス |
| (6) その他の事業        | : ゴルフ場運営、不動産鑑定等             |

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、そのセグメントの財務情報が入手可能なもので、かつ経営陣に

よる業績の評価及び経営資源の配分の決定において、定期的に検討を行う対象となっているものであります。報告セグメントの主要な内容は以下の通りであります。

資産運用事業	: 収益不動産の調達、運用商品の組成・販売
証券化事業	: 運用商品の証券化、機関投資家との共同出資
プロパティマネジメント事業	: 賃貸管理、建物管理、不動産資産の収益改善
サービシング事業	: 債権管理回収、デューデリジェンス
投融資事業	: M&A等による投資・育成、プロジェクトファイナンス
その他の事業	: ゴルフ場運営等

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	資産運用事業	証券化事業	プロパティマ ネジメント事 業	サービシング 事業	投融資事業	その他の事業			
売上高									
外部顧客への 売上高	1,908	10	733	1,013	—	266	3,932	—	3,932
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	0	—	4	4	△4	—
計	1,908	10	733	1,013	—	270	3,936	△4	3,932
セグメント利益 又は損失(△)	△127	△8	160	237	△2	△34	225	△164	60

(注) 1 セグメント利益の調整額△164百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用160百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書における営業利益の額と一致しております。

### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日）

該当事項はありません。